

臨時国会召集を政府の取るべき道 小池書記が会見で強調



日本共産党の小池晃書記局長は22日、国会内で記者会見し（左写真、「しんぶん赤旗」より）、政府・与党が、野党が求める臨時国会の早期召集に応じない姿勢を示していることについて問われ「臨時国会の召集要求は憲法53条に基づくものであり、『応じない』などということは許されない」と厳しく批判しました。

小池氏は、憲法53条が衆参いずれかの議院の総議員の4分の1以上の要求があれば「内閣はその（臨時国会の）召集を決定しなければならない」としていると指摘し、「『応じない』などという選択の余地はない」と強調しました。

自民党が2012年にまとめた改憲草案では「要求があった日から20日以内に臨時国会が召集されなければならない」とされています。小池氏は、これを解説する自民党発行のQ&Aでは、20日以内の臨時国会の召集について「少数会派の乱用が心配だ」という質問に対して「党内の議論では、『臨時国会の召集要求権を少数者の権利として定めた以上、きちんと召集されるのは当然である』という意見が大勢を占めた」との回答になっていると指摘しました。

小池氏は「自民党内のかつて行われた議論に照らしても、早期の開催に『応じない』というのは、憲法も民主主義も踏みにじる暴論中の暴論だ。直ちに国会を開くことが政府が取るべき道だ」と述べました。

内閣支持率急落、最大の問題は統一協会との関係

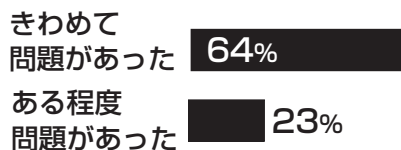
報道各社の世論調査（いずれも20、21両日実施）では、岸田内閣の支持率が軒並み急落しました。小池氏は統一協会と政府・与党との癒着の問題をめぐり「閣僚、政務三役と統一協会の関係が、後になってから次々に出てきている」と指摘。「毎日」の調査では、政治家は統一協会との関係を「断つべきだ」が86%に上っていることをあげつつ、「自民党としては『調査をしない』という対応を取っていることに、国民の怒りが噴き上がっている」と強調しました。

毎日

Q. 岸田内閣を支持しますか？

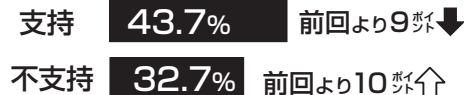


Q. 自民党と統一協会の関係について

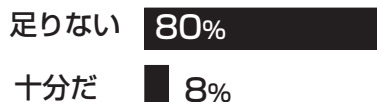


ANN

Q. 岸田内閣を支持しますか？



Q. 統一協会と政治のつながりで、政党や国会議員が行っている調査や説明などの対応について



産経

Q. 統一協会との関係が指摘された閣僚や議員の説明について



Q. 岸田首相が統一協会との関係の見直しを求め、了解した人を任命したことについて



政治家と統一協会の癒着の一掃を

自由と平和。まっすぐ、つらぬく

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2022年8月号外日本共産党東京都委員会の訴えを紹介します。
発行／東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日第三種郵便物認可